

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)」、フォルダ「スポーツ科学部」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	澤野 大地		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	1206	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け(開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自分が所属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP4-F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p> <p>DP8-M〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリック(CR)との関連 F1探究と論拠-30%・G1状況把握-30%・I2量的分析-20%・J1継続的学修基盤-10%・M1統合的・応用的学修-10%</p>		
教員の実務経験	オリンピック3大会(2004年、2008年、2016年)、世界陸上7大会(2003年、2005年、2007年、2009年、2011年、2013年、2019年)に出場しました。その競技者としての経験を活かして、講義を行います。また日本オリンピック委員会アスリート委員長として活動をしている中で、あらゆる競技の選手と関わってきた経験を活かして、講義を行います。(第2回)		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形態は、授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補充・代替するためオンライン授業(ライブ配信型)を取り入れます。 ■キーワード 研究・省察・反省的実践		
授業の趣旨	<p>■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践</p> <p>■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでの研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。</p> <p>■授業のポイント 自身の競技パフォーマンス向上を追求するための体力トレーニング方法について研究を行います。</p>		
総合到達目標	<p>■自身の競技パフォーマンス向上を追求するために、様々な体力トレーニング方法について理解し、筋力または持久力向上を目的とした研究の進め方について選択すべき方法などを説明できる能力を修得する。</p> <p>・様々な体力トレーニングの研究方法について説明できる。(第1回～第3回)</p> <p>・研究を実践し、検証できる。(第4回～第11回)</p> <p>・卒業研究に向けた研究計画を立案、発表することができる。(第12回～第15回)</p>		
成績評価方法	<p>■プレゼンテーション(70%) G1 I2 J1 M1 (評価の観点)自身もしくはグループで発表を行い、その内容について評価します。 (フィードバック方法)発表後に講評を行います。</p> <p>■授業参加度(30%) F1 J1 M1 (評価の観点)自身もしくはグループでの測定に対する取り組み方など、総合的に評価します。</p>		
履修条件	「体力トレーニング論」を履修している事。また「体力トレーニング論演習」を履修する事。ゼミナールⅠを履修していること。		
履修上の注意点	特にありません。		
授業内容	回	内容	
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。	

	<p>③予習 (120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。</p>
2	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検討と研究計画の検討①</p> <p>②授業概要 自身の競技種目に応じた体力における課題の解決と、そのために必要な研究計画について検討し確認する。</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて、トップアスリートを対象とした先行研究などを紹介しながら、講義を行います。</p> <p>③予習 (120分) 自身における体力面での現実的な課題について確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認しておく。</p>
3	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検討と研究計画の検討②</p> <p>②授業概要 自身の競技種目に応じた体力における課題の解決と、そのために必要な研究計画について検討し確認する。</p> <p>③予習 (120分) 自身における体力面での現実的な課題について確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認しておく。</p>
4	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検証①</p> <p>②授業概要 自身の競技パフォーマンス向上を追求するために必要なトレーニング法を検証する。</p> <p>③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。</p>
5	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検証②</p> <p>②授業概要 自身の競技パフォーマンス向上を追求するために必要なトレーニング法を検証する。</p> <p>③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。</p>
6	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検証③</p> <p>②授業概要 自身の競技パフォーマンス向上を追求するために必要なトレーニング法を検証する。</p> <p>③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。</p>
7	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検証④</p> <p>②授業概要 自身の競技パフォーマンス向上を追求するために必要なトレーニング法を検証する。</p> <p>③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。</p>
8	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検証⑤</p> <p>②授業概要 自身の競技パフォーマンス向上を追求するために必要なトレーニング法を検証する。</p> <p>③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究実行していく中で得られた結果を整理しておく。</p>
9	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検証⑥</p> <p>②授業概要 自身の競技パフォーマンス向上を追求するために必要なトレーニング法を検証する。</p> <p>③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究実行していく中で得られた結果を整理しておく。</p>
10	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検証⑦</p> <p>②授業概要 自身の競技パフォーマンス向上を追求するために必要なトレーニング法を検証する。</p> <p>③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究実行していく中で得られた結果を整理しておく。</p>
11	<p>①授業テーマ 自身の競技種目に応じた体カトレーニングの検証⑧</p> <p>②授業概要 自身の競技パフォーマンス向上を追求するために必要なトレーニング法を検証する。</p> <p>③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究実行していく中で得られた結果を整理しておく。</p>
12	<p>①授業テーマ 実践された研究結果の整理、及び卒業研究に向けた研究計画の発表準備①</p> <p>②授業概要 研究の結果、及び卒業研究に向けた研究計画の発表の準備を行う。</p> <p>③予習 (120分) 発表に必要な情報の選出を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。</p>
13	<p>①授業テーマ 実践された研究結果の整理、及び卒業研究に向けた研究計画の発表準備②</p> <p>②授業概要 研究の結果、及び卒業研究に向けた研究計画の発表の準備を行う。</p> <p>③予習 (120分) 発表に必要な情報の選出を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。</p>
14	<p>①授業テーマ 研究成果、及び卒業研究に向けた研究計画の発表</p> <p>②授業概要 自身の研究成果について、及び卒業研究に向けた研究計画の発表を行う。発表後、講評を行います。</p> <p>③予習 (120分) 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。</p> <p>④復習 (120分) 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究に向けた課題の選出を行っておく。</p>
15	<p>①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ</p> <p>②授業概要 ゼミナールⅡで行われた授業内容を振り返り、卒業研究に向けて必要な情報を整理する。</p> <p>③予習 (120分) 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。</p> <p>④復習 (120分) 卒業研究に向けて必要な文献の整理を行っておく。</p>
関連科目	コーチング学研究法演習 (SSCS2317)、体カトレーニング論 (SSCS2329)、体カトレーニング論演習 (SSCS3620)、ゼミナールⅠ (SSCS4605)
教科書	特に指定はしません。
参考書・参考URL	授業内で紹介します。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に告知します。</p> <p>■オフィスアワー 月曜3限</p> <p>それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとれば研究室で対応します。</p>
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.